

# さくらんぼ

東根市立神町小学校だより  
第 6 号  
平成29年11月8日  
TEL 47-0035  
FAX 47-0275

## 神町の「たからもの」を大発見

校長 長瀬 広幸

先日、神町小学校卒業の大先輩である東北文教大学の武田剛先生よりご講演をいただきました。先生は、昭和28年の卒業生であり、戦中、戦後の激動の神町で、アメリカ兵が常駐するという特別な環境の中、若木山や乱川の自然の豊かさと、共に生きる家族の温かさを肌で感じ、たくましく少年時代を過ごしてこられました。そのような特別な環境の中でも、子供たちが健全に育てられたのは、「神町子供クラブ世話人会」の存在が大きかったとお話しされています。今でこそ、子供会育成会は当たり前の存在になっていますが、全国に先駆けて発足させ、地域の子供は地域で守ろうと立ち上がられた神町地区の先輩諸氏に心から敬意を表したいと思います。その取組は、全国にも紹介され、当時の鳩山一郎総理大臣より、感謝状と大理石の置時計を授与されています。

このように、神町地区には、子供たちを温かく支えてくださる風土が根付いています。それは、神町パトロール協議会に見る積極的な見守り活動にも感じられます。もしかすると、パトロール会員の方々も武田先生と同じく、子供クラブ世話人の方から見守られていたのかもしれない。

また、朝の忙しい時間に子供たちのために読み聞かせして下さるリボンのの方々、古くから伝わる伝統的な行事を教えてください下さる老人クラブの方々、リンゴづくりを指導して下さる農業士の方々と、教育活動を支えて下さるたくさんの方々がいらっしゃいます。地域の温かさに包まれている小学校です。

2年生の生活科の授業では、町探検を行いました。子供たちは、神町の「たからもの」を探すために、地区内のお店や施設を訪問してインタビューし、自分たちの生活とのつながりや魅力を発見しました。子供たちのインタビューに優しく丁寧に応じて下さるお店の方々に紙上をお借りして感謝を申し上げます。何よりも、嬉しいのはお忙しいにも関わらず、子供たちの訪問に笑顔で応じていただいたことです。ありがとうございました。

地域で子供を守り、地域で子供を育てようとするこの風土は間違いなく神町の宝物です。2年生の子供たちの学習のまとめに、「お店や品物だけではなく、人も工夫もたからものなんだね。」という言葉がありました。しっかりと神町のたからものを実感しています。

総理大臣からいただいた感謝状と大理石の時計は、校長室に今も飾られています。神町小の誇りとして、大切に飾り続けます。





# いろいろな秋、みつけた

## 文化の秋(スクールコンサート)

10/2(月)に山形交響楽団の方々をお呼びして生のオーケストラ演奏を全校児童で楽しみました。「ワールドツアー」と題し、世界各国の音楽にふれて旅する演出やオーケストラと一緒に歌うコーナーがあり、子どもたちは大満足でした。今月11/14(火)には神町地区で音楽活動を行っているの方々による音楽教室が計画されています。まさに文化の秋、まっただ中。



どうしてこんなに素敵な音が出るのだろう?

みんなマナーが  
いいですね~

## 6年食欲の秋



毎年恒例のバイキング給食が10/17(火)に行われました。ご覧ください。テーブルいっぱいに並んだ大皿の数々。自分のお腹と相談しながら盛りつけ、神小っ子の食べっぷりとマナーの良さに給食センターの方々には感心していました。後日、おほめの言葉をたくさんいただきました。

## 5年実りの秋



日本一小さい田んぼの田植えの様子を5月号で紹介しましたが、今回は稲刈り、脱穀を体験しました。収穫した米の量はわずかですが、米づくりを通して得た学びは生涯忘れないものになることでしょう。武田先生、ありがとうございました。

## 遠足の秋 3・4年学びの秋



「ヤッホー」と叫ぶ声が聞こえてきそうな遠足の一場面。若木公園チームは弁当びらきの前に若木山に登って小さな秋を体感しました。上学年が下学年の面倒を見ながら、みんなが楽しんだ遠足でした。

4年生の『人権の花運動』は花を育てる活動を通して心優しい人に育ててほしいという思いで行われています。みんな心を込めて植えています。



どんなことに気をつけて品物を買いますか?

3年生はヤマザワに行き、「スーパーマーケットのひみつ」を探ってきました。お客さんにも積極的にインタビューし、大収穫の日でした。